



エコマークアワード 2017
優秀賞 帝金株式会社

帝金株式会社 会社概要

社名	帝金株式会社
創業	1945年(昭和20年) 10月
設立	1937年(昭和37年) 9月
資本金	46,200,000円
代表取締役社長	大塚 晴一郎
本社所在地	本社 〒542-0081 大阪市中央区南船場4-6-21 PHONE : 06-6252-3691(代表) FAX : 06-6252-3698
所属団体	大阪建築金物卸商協同組合 大阪建築工事金物組合 大阪商工会議所 (社)大阪発明協会

上下式

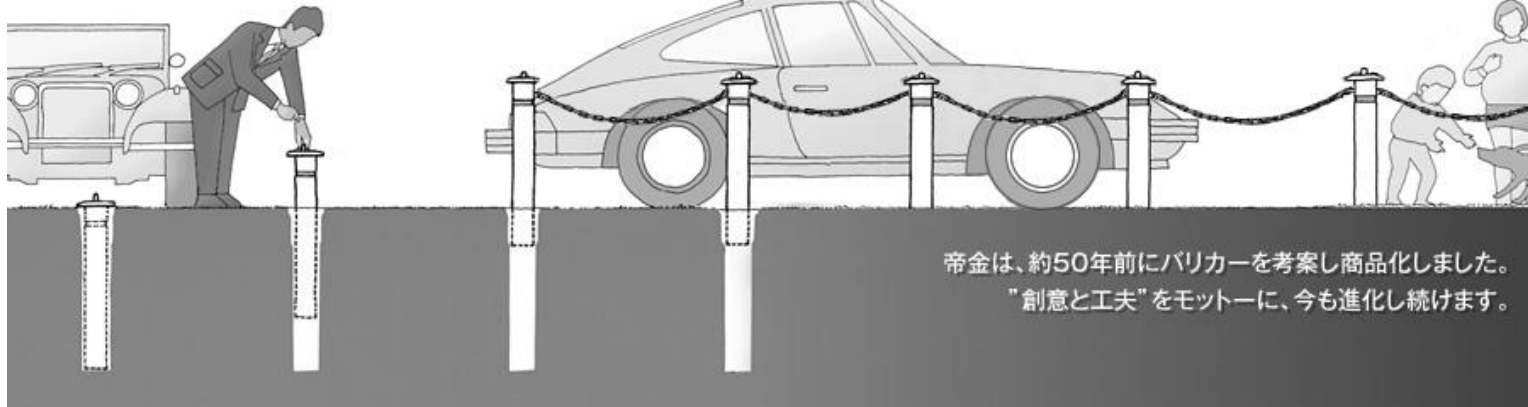


帝金株式会社は車止めポール「バリカー」の専門メーカーです。
 「バリカー」とは車止めの総称で、バリケードとカーを掛け合わせた造語でございます。
 当社の創業者、大塚幸三が命名しました。
 昭和41年にこちらの上下式を開発し、50年以上ご愛用いただいております。
 ご存知かもしれませんが、「バリカー」上下式は、駐車場の出入り口などに設置し、
 昼間は収納、夜間の引き上げ、自動車の出入りを防止するあのポールの事です。



バリカーとは?

BARRICADE + CAR = BARICAR
 柵 自動車 車止め



帝金は、約50年前にバリカーを考案し商品化しました。
 "創意と工夫"をモットーに、今も進化し続けます。

ピラー型



バリカー ピラー型というタイプがあります。
以前はガードレールをよく使用されていましたが、最近では景観への配慮からこのピラー型を用いることが多くなりました。
支柱と支柱の間にクサリを張り、歩行者の乱横断を防止する場合がございます。

横 型



バリカー 横型というタイプがありまして、公園の出入り口や店舗の前に設置し、自動車の侵入を防ぎます。大きく分けて、この3タイプですがその他にもトータルで約900種類の品揃えをしております。

エコバリカーの特性



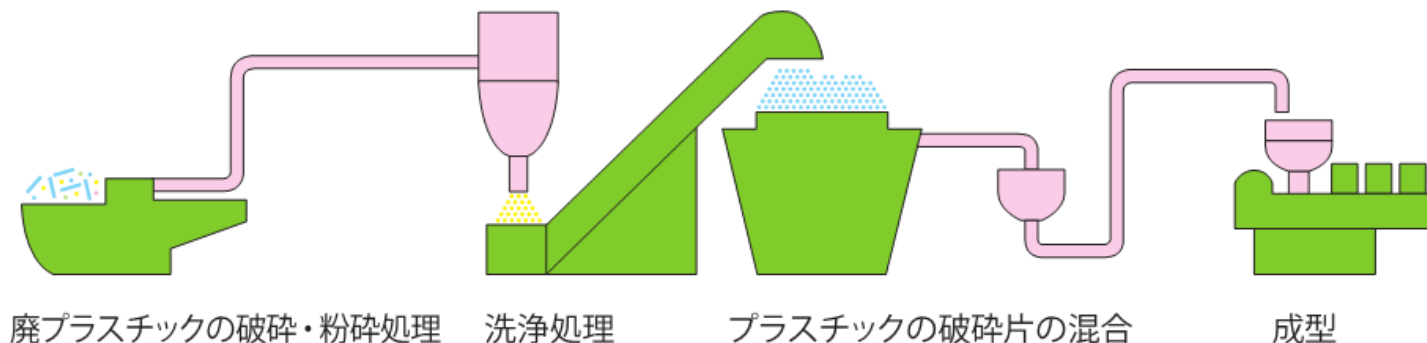
■再生プラスチックを100%使用



「エコバリカー」の最大の特徴は何と言っても、再生プラスチック製という事です。ほとんどが金属製で、再生プラスチック製の車止めは、当時としては画期的なことでした。



□ポリエチレン再資源化システム工程図



■エコバリカーの設置場所



■再生プラスチックの復元力



写真の実験では、金属製車止めにはない優れた復元力があることが証明されました。
従来の金属製車止めですと、この状態では曲がって元には戻りません。
エコバリカーは曲がっても復元しますので、従来品よりも優れた性能を持ったバリカーです。
リサイクル商品であり、機能も優れている「エコバリカー」は、全国でさらに高い信頼を得るようになりました。

■ 景観への配慮

いろんな場所に設置されるので、景観を損なわないデザイン性が求められます。
「エコバリカー」のシックな色合いは景観にもマッチし、全国の歩道でご採用いただけるようになりました。



北海道新函館北斗駅周辺

■ 貼り紙防止効果



■ 海辺でもサビない

海辺で金属製の車止めを使用しますと塩害でサビる恐れがあります。再生プラスチック製のエコバリカーは、サビる心配は一切ありません。海辺に適していますので、東日本大震災の復興事業にも使用されました。



神戸港周辺

■ エコマーク商品等の認知度向上への取り組み



「エコバリカー」には必ずエコマークが表示されています。
街行くお子様からご年配の方々まで、だれもがエコマークを目にします。
エコマークの認知度向上の一助になりますように、これからもエコマークの表示を続けます。

■ 環境への取り組み



エコマーク認定をいただいたからこそ、自治体の「リサイクル商品」にも認定いただきました。現在は愛知県の「あいくる材」と北九州市の「建設リサイクル資材」に認定いただいております。新たに福岡県の「建設リサイクル資材」にも只今、申請中です。国交省NETIS、東京都建設局新技術情報DB、港湾局新材料・新工法DBなどに登録されております。帝金にとって「エコバリカー」を普及させることこそが、循環型社会の実現につながると信じて、今後も積極的な開発、製品の普及に取り組んでまいります。